



つのがい 角替石材店 新聞

「資生堂アートハウス所蔵作品展 小村雪岱 『江戸を夢見る』」を見に行きました。掛川市にある資生堂アートハウスは、2026年上期の展覧会をもって、その長い歴史に幕を下ろし、6月27日に閉館することになったそうです。県内に住んでいながら、実は今まで行ったことがなかったので、この機会に足を運んでみました。



開催中の作品展の挿絵はどれも趣

があり、とても素敵でした。建築も興味深く、美術館の空間に身を置いて、絵画を鑑賞できる贅沢な時間が、やはりとても好きだなと感じました。あいにくの雨模様でしたが、しっとりと落ち着いた時間を過ごすことができて、これが最後なのがとても残念に感じられました。いつの日かまた新たな形で再開してくれたらと、微かな希望は残しておきたいです。

知っていますか？ 6月の記念日

●6月10日は「時の記念日」です

東京天文台（現在の国立天文台）などによって、1920年（大正9年）に制定されました。671年、天智天皇の時代に、日本で初めて時計による時の知らせが行われたということにちなんでいます。そのことを記した『日本書紀』によれば、その時計は容器に水が流入・流出するようにして水面の高さの変化で時をはかるもの、いわゆる「水時計」だったようです。



■発行者：株式会社 角替石材店

専務：角替立弘（つのがい たつひろ）

昭和46年富士市生まれ。岳陽中、富士宮北高、建築の学校を経て、東京の設計事務所で2年間働きました。父親、妻、息子2人の3世代5人家族です。読書とモノ作りが好きで、石はもちろん金属や紙を使って作品を作るのが趣味です！



※国家検定1級技能士（社長）
※二級建築士



角替石材店 展示場

☎ 0120-21-6649

静岡県富士市厚原2108-3

※仏事クイズの答え：③

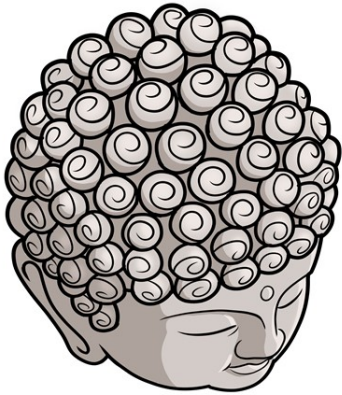
※まちがいがさの答え：1)イヤリング 2)右端のヒナ 3)母ツバメの尾



～お墓・仏事のミニ知識～



★螺髻(らほつ)とは？



大仏などの仏像の頭にある、ぶつぶつとしたものは「螺髻(らほつ)」と呼ばれます。螺髻は、悟りを開いた仏さまである「如来像」に見られる特徴のひとつです。お釈迦様が人間を超えた尊い存在であることを表す、仏さまの身体的な特徴として知られています。「螺」という字には、巻貝や渦巻きという意味があります。

螺髻も、巻貝のようにくるりと巻いた髪の毛を表したものとされ、ひとつひとつが髪の毛の巻いた形を表現しているといわれます。一般的には右巻きの螺髻が多いとされていますが、鎌倉大仏など一部の仏像では左巻きになっているものもあります。その理由については諸説あり、はっきりとは分かっていません。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



密教において、怒りの表情で迷いや煩惱を断ち切る仏として信仰され、「大日如来」の化身とされるのは、次のうちどれでしょう？

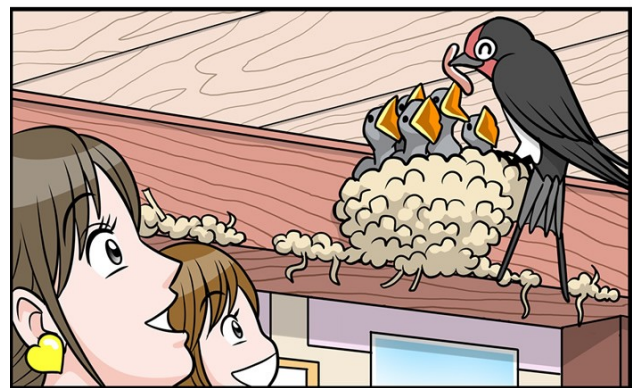
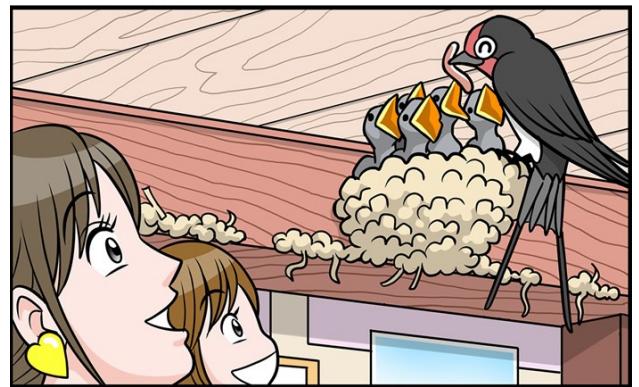
- ① 薬師如来
- ② 観音菩薩
- ③ 不動明王



人々を迷いや煩惱から救うべく、炎に包まれた背景と恐ろしい形相で描かれることが多いです。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。